

美術研究科先端芸術表現専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

先端芸術表現専攻は、広くメディアを横断する芸術表現を創造・研究し、グローバルに活躍する人材の養成を目指しています。修士課程では、制作やディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどを通して、社会における芸術の実践について学びます。カリキュラムでは、幅広い分野で活躍する人材による特別講義や演習を実施するほか、さまざまなプロジェクトへの参加機会を創出し、学生がより広い視野を得て芸術表現の可能性を追求するための教育を行います。

求める入学者像

- ・自らの表現を探究するとともに、社会への関心と問題意識をもっている。
- ・多様な文化を受容し、他者ととともに、共生・共創する意志を持っている。
- ・今日の問題に応答する独創性のある表現を探究している。

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修了制作」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。

カリキュラム構成

大学院では、学生は一つの研究室に所属して各自のテーマを探究します。修了に向けた創作・研究では、主査・副査の制度により、複数教員による領域横断的な指導を行います。

【修士1年】

前期にイントロダクション展、後期には成果展を行い、作品制作を通してテーマ、コンセプト、リサーチ、表現手法を学ぶとともに、展覧会の企画・運営を通して協働や交渉、マネジメントの経験を養います。さまざまなプロジェクトや多彩なゲスト講師によるレクチャーを通して、表現や研究の幅を広げます。ディスカッションや文章表現の力も伸ばします。

【修士2年】

修士修了制作展に向けて、前期は年間の研究テーマを立て、主査や副査の指導のもとで研究を進め、WIP (Work in Progress) 展で研究の途中経過を発表する。後期には制作と研究テーマを深化させ、作品解説論文を執筆する。研究の集大成として修士修了展で成果を発表する。

教育目標

- ①社会に向けてアートを開くための実践と研究方法を学ぶ
- ②メディアを横断する芸術表現やさまざまなプロジェクトを通して、自身の表現を社会に接続させる方法を探究する
- ③国際的な視野をもって今日的課題に取り組む